

「踏みしめて」第26号

～町の様子を皆様に伝えていきます～



亀澤 進

被災地の復興、放射能汚染、経済復旧等々政府が一刻も早くやらなければならないことは山積みです。しかし、あまりにも遅い動きに憤りを感じる毎日です。
19日のキャンドルナイトは、大勢の人が参加しテレビでも放映されました。そして21日に森町地球温暖化防止推進会議が開かれました。県では15%の節電を呼びかけていますが、森町では11%を目標に節電を推進します。節電コンテストも計画しているので、無理をせず楽しみながら節電することも考えてみましょう。
さて今号は、6月定例会で審議された人事案件、補正予算についてご報告します。

森町監査委員に山本俊康氏

議会から選任される監査委員の辞職に伴い、新たに山本俊康氏が選任されました。議員の役職については下表の通りです。

役 職	議員名		役 職	議員名	
中遠広域事務組合議会	野口富彦	西田彰	森町国民健康保険運営協議会	亀澤進	西田彰
東遠学園組合議会	太田康雄	—		鈴木托治	—
養護老人ホームとよおか管理組合議会	小沢一男	—	森町農業振興地域整備促進協議会	野口富彦	—
袋井市森町広域行政組合議会	鈴木晃	榊原淑友	森町環境衛生協議会	亀澤進	—
	中村禮二	亀澤進	森町生涯学習推進協議会	中村禮二	—
太田川原野谷川治水水防組合議会	鈴木托治	大場孝尙	森町公営企業経営委員会	鈴木晃	山本俊康
	太田康雄	—	森町交通安全対策委員会	鈴木晃	—
中東遠看護専門学校組合議会	山本俊康	小沢一男	森町有林管理委員会	片岡健	鈴木托治
県道袋井春野線改良舗装促進期成同盟会	鈴木晃	榊原淑友	森町文化会館運営委員会	鈴木晃	—
	亀澤進	—	森町行財政改革推進委員会	榊原淑友	—
掛川磐田間幹線道路整備促進期成同盟会	鈴木晃	—	周智郡土地開発公社	鈴木晃	—
主要地方道藤枝天竜線道路整備促進期成同盟会	鈴木晃	—	森町基幹道大尾大日山線整備促進協議会	片岡健	—
御前崎港整備促進期成同盟会	鈴木晃	—	天竜川下流用水協議会	鈴木晃	—
主要地方道焼津森線道路整備促進期成同盟会	鈴木晃	—	森町環境衛生自治推進協会	亀澤進	西田彰
森町袋井インター通り線建設促進期成同盟会	鈴木晃	榊原淑友	森町水田農業推進協議会	野口富彦	—
	亀澤進	—	森町茶業振興協議会	鈴木晃	榊原淑友
森町社会教育委員会	中村禮二	—	森町ミキホール文化振興会	鈴木晃	—
森町都市計画審議会	中村禮二	亀澤進	森町地域公共交通会議	片岡健	鈴木托治
森町民生委員推薦会	大場孝尙	—	新東名サミット懇話会	鈴木晃	山本俊康
森町監査委員	山本俊康	—	議会だより編集委員会	榊原淑友	片岡健
				中村禮二	鈴木托治
				野口富彦	—

人権擁護委員候補者2名推薦

現人権擁護委員の稲葉百合子氏と野中綾子氏の退任に伴い、後任として山田勝恵氏と小倉則子氏が新たに推薦されました。

◆山田勝恵氏

- ・住所 森町森10番地
- ・生年月日 昭和28年1月7日
- ・小中学校の養護教諭を経歴

◆小倉則子氏

- ・住所 森町飯田3068番地の49
- ・生年月日 昭和29年1月6日
- ・小学校教諭を経歴

自治総合センター・コミュニティ助成金を活用！

中川上及び北戸綿町内会所有の幟旗、屋台に係る欄干等の新調、修繕の経費に対し、コミュニティ助成金が補正されました。内訳は、中川上が220万円、北戸綿が250万円となります。

城下公民館建て替えに助成

城下町内会の公民館建設に対し、県のコミュニティ施設整備事業補助金400万円と、森町町内会公民館整備補助金交付要綱に基づく450万円、計850万円の補助金が補正されました。

木材需要の拡大を図る！

県の森林整備加速化・林業再生事業補助金1,459万円を受けて、有限会社アマノが購入する木材乾燥機1基に対して、全額補助することとなりました。

川遊び客の快適性を高める

アクティ森周辺で川遊びをする利用者の利便性及び快適性を高めるため、屋外トイレ横付近にシャワー施設、流し場等を整備することとなりました。(事業費672万3千円)

平成22年度の川遊び等の入場料が68万円(100円/回)となったことから。サービスと更なる利用者増を図るため計画しました。水は自家水の常温水で、無料で利用できます。

大規模災害に備えて…

◆三島神社境内地の南側急斜面は崩落する危険性があったため、隣接する住宅及び町内会から対策要望が出されていました。県の土砂災害警戒区域に指定してもらえる可能性が出てきたため、擁壁、防護フェンス等を設置するための測量設計、地質調査及び区域指定に向けた業務等を実施することとなりました。擁壁部分の土地については町が購入することとなります。

◆庁舎用の備蓄非常食を500食追加して5,000食とし、指定避難所13カ所分の仮設トイレを21基追加して1カ所あたり5基としました。

◆事業所に戸別受信機の設置を募集したところ、150件の応募を見込みました。事業所負担は、1台あたり12,000円となります。

◆東海地震を想定し、孤立集落等への給水活動を行うための給水タンク車を購入することとなりました。タンク容量は2トンで、1回の給水で700人弱の水がまかなえます。